

医師の異動（9月）

- 着任（令和5年9月1日付） ありません
- 退職（令和5年8月31日付） ありません

第330回 開放型病床生涯教育研修会を開催しました

令和5年8月3日に第330回開放型病床生涯教育研修会を開催しました。

今回は放射線科（治療部門）責任部長 小坂恭弘先生を講師に迎え「15年ぶりのリニアックの更新！当院でできる放射線治療」をテーマにご講演いただきました。

今回も会場とZoomとのハイブリッド形式で開催し、院内外から52名の参加をいただきました。

講師からは、新しく導入されたリニアックの新機能について大変わかりやすい説明をいただき、湖北地域は元より湖東地域など広い地域で最新の放射線治療が受けられることがわかりました。



第332回 開放型病床生涯教育研修会を開催します

日時：令和5年10月5日（木）17:30～18:30
 テーマ：「脳梗塞の治療 ～薬物治療と血管内治療～」
 講師：堀口 聡士 氏 当院 脳神経外科責任部長
 会場：市立長浜病院 本館2階 講堂
 申込み：FAX またはメールでお申し込みください。

※ 申し込み方法等は、別添の開催チラシをご参照ください。
 ※ Zoomでの参加も可能です。
 ※ 新型コロナウイルス感染症の拡大の推移により、開催方針に変更がある場合は速やかにご案内いたします。

お知らせ

■ 第20回日本医療マネジメント学会 京滋支部学術集會を開催！

開催日時：令和5年10月28日（土）9:45～16:15
 テーマ：「We Are One Team!」～気持ちよく働ける職場をめざして～
 会場：長浜文化芸術会館／北ピコホテルグライエ
 内容：一部抜粋

特別講演

『猫が30歳まで生きて人の透析がなくなる日まで』
 一般社団法人AIM医学研究所 代表理事・所長 宮崎 徹先生

基調講演

『One Teamとして考えるTeam STEPPSと医療安全』
 京都医療センター看護部長 高田幸千子先生



市立長浜病院 地域医療連携だより 令和5年9月1日号 No.222

理念
 地域住民の健康を守るため、「人中心の医療」を発展させ、地域完結型の医療を推進します。

市立長浜病院
 患者総合支援センター 地域医療連携室
 〒526-8580 長浜市大茂亥町 313 番地
 TEL: 0749-65-2720
 FAX: 0749-65-2730
<https://www.nagahama-hp.jp/>



救急告示病院
 日本医療機能評価機構認定病院
 地域がん診療連携拠点病院
 厚生労働省臨床研修指定病院
 周産期協力病院
 地域医療支援病院

謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は当院病院事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。9月の外来診察担当医師表を別添資料でお届けいたしますので、ご査収ください。 敬白

ペインクリニックのご案内

ペインクリニック外来担当医師 福井 聖
 岩下 成人

2023年1月より、ペインクリニックの診療を開始しました。薬物療法、神経ブロック療法をバランスよく提供し、院内外の医療者様と連携を取りながら、生活の質（QOL）の向上を目指します。

神経ブロック療法は、炎症や圧迫などで痛みを伝える神経が敏感になっている状態を緩和する治療法です。安全かつ確実に施行するため、放射線部TV室あるいは手術室でX線透視下に行います。

また、院内の緩和ケアチームと連携をとり、がん性疼痛患者に対するオピオイドによる治療に加えて、腹腔神経叢ブロックなども行います。

主な対象疾患は、以下のとおりです。

- 運動器疼痛疾患
 椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症、変形性脊椎症、肩関節周囲炎など
- 神経障害性疼痛
 帯状疱疹痛（急性期から）、帯状疱疹後神経痛、遷延性術後痛など
- 血行障害性疼痛
 閉塞性動脈硬化症にともなう下肢痛など
- がん性疼痛
 内臓痛、脊椎転移による腰背部痛（脊椎外科による手術に至らない病態）など



テレビ室のX線透視装置と透視画像

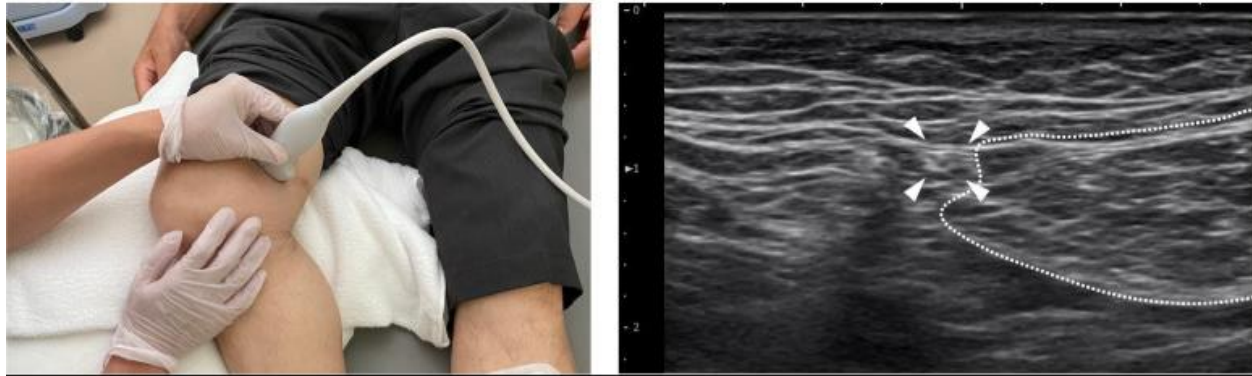
慢性膝関節痛に対する P-RF の可能性

JA Clin Rep. 2022 Dec 2;8(1):92. doi: 10.1186/s40981-022-00585-6.

Ultrasound imaging with an electric stimulant was useful in pulsed radiofrequency for chronic knee pain in the medial region

慢性膝関節痛患者の疼痛治療に超音波ガイド下にパルス高周波治療が有効であった報告を行いました。

Satoshi Shimizu^{1,2}, Narihito Iwashita³, Sei Fukui³, Hirotoshi Kitagawa⁴



トピック

滋賀県内で、滋賀医科大学附属病院でのみ施行可能であったパルス高周波療法 (Pulsed Radiofrequency Treatment: P-RF) の機器を導入しました。特殊な針の先端から高周波エネルギーを間欠的に加えることで、神経を傷めずに痛みだけを抑える方法で、その神経が支配する部位の痛みを一時的に、または長期的におさえることを目的としています。高周波熱凝固法 (神経破壊術) と異なり、針先の温度は 42 度以下に抑えられるため、しびれや力の入りにくさといった副作用がおこらない治療法です。



トプリージョンジェネレーター TLG-10 (トプ社製)

ペインクリニック外来のご紹介

がん性疼痛看護認定看護師 大町 衣里子



当院には様々な痛みを抱えた患者さんが来院されます。そのような患者さんの中には痛みがなかなかとりきれず、生活に支障を来したり、悩んでいる方もおられると思います。

当院では 2023 年 1 月よりペインクリニック外来の診療を開始しました。さまざまな痛みのある患者さんに対して、薬物療法、神経ブロック療法をバランスよく提供し、生活の質 (QOL) の向上を目指していきます。対象患者さんはがん患者さんだけでなく、椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症などの運動器疼痛疾患や帯状疱疹痛などの神経障害性疼痛の方となります。

患者さんには事前に痛みに関する問診をさせていただき、痛みの部位や改善目標等を確認しています。診察室では再度担当医から痛みについての問診をしながら治療方針を決定していきます。看護師としては、必要に応じてお薬の使用法や生活面での過ごし方等についてのアドバイスをさせていただいています。

診療は毎週月曜日、愛知医科大学と滋賀医科大学の専門医が担当しています。少しでも痛みが改善できるように患者さんと共に考えていきたいと思っていますので、ぜひご相談ください。

ペインクリニックについて

中央手術室 特定看護師 高田 憲明

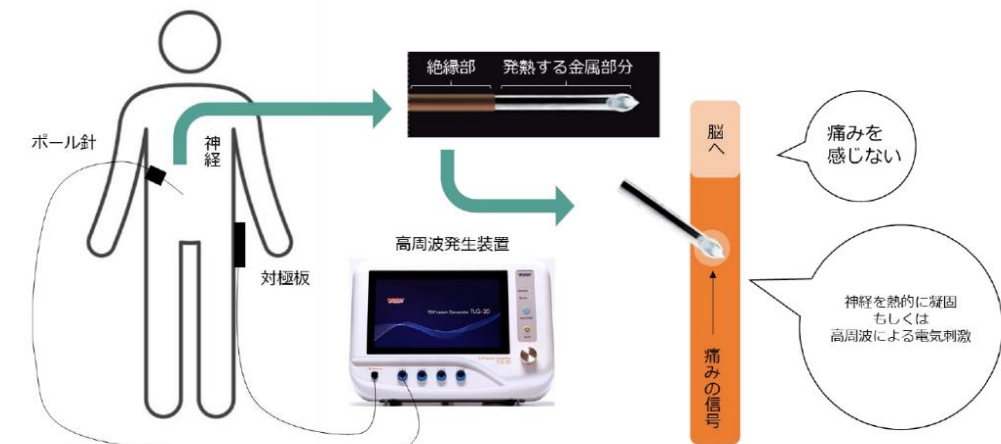


2023 年 1 月より、当院でペインクリニックを開設しました。福井医師・岩下医師を中心に、痛みにお困りの患者様の QOL 向上を目指します。運動器疼痛や神経障害性疼痛、血行障害、がん性疼痛などでお困りの患者様が主な対象となります。

治療の手法は、主に薬物療法と神経ブロック療法となります。神経ブロック療法とは、慢性化している痛みに対して、原因となる神経へ局所麻酔薬などを注射し、痛みを抑えることをねらうものです。さらに、神経ブロック療法の一部で、より効果の高い「高周波熱凝固」・「パルス高周波」治療を行っているのが特色です。

「高周波熱凝固」、「パルス高周波」治療は専用の装置を使用するため手術室で行います。局所麻酔薬と合わせて高周波電流を神経にあてることで、より長期間痛みを抑えられる可能性があります。特に「パルス高周波」治療は、42°C 程度の低い温度で神経へ作用するため、合併症のリスクも小さく、上手くいけば数カ月～1 年間程度の鎮痛が図れます。治療時の電流は微弱ですが、必要に応じて適切に痛み止めを行うため、安心して治療を受けて頂けます。

実際にこの治療を行うかは、診察と治療の経過によって医師が判断を行います。痛みにお困りの方は、かかりつけ医や受診中の医療機関にてご相談下さい。



脳卒中メンテナンスリハビリテーション入院について

◆脳卒中メンテナンスリハビリテーション入院

脳卒中の後遺症に対して、今必要なリハビリテーションは何かをお伝えし、自宅で行えるリハビリテーションを体験して覚えて帰る「メンテナンス(維持)リハビリテーション入院」を以下の要領で行っております。

- ・退院後に行うリハビリテーションを習得可能な方が対象です。
- ・入院中に改善させることが目的ではなく、あくまで再評価と自宅での訓練内容を体験して覚えて帰って頂くことを主な目的としています。
- ・一回の入院は原則 2 週間以内です。少なくとも 6 ヶ月ごとのメンテナンス入院をお勧めしています。
- ・入院中にリハビリテーション以外の診療行為はお受けできません。このため、全身状態の安定している方を対象としています。
- ・高度な認知機能障害のためにリハビリテーションができない方、効果を出してあげられないくらいに重度の障害の方はお受けしていません。